

岡原子力委員会委員長の海外出張報告

平成30年12月4日

1. 出張先

フランス（パリ、及びマールクール研究所）

2. 出張期間

平成30年11月19日（月）～25日（日）

3. 渡航目的

パリで開催される日仏原子力委員会、及び日仏原子力専門家会合（N20）に出席し、フランス側原子力関係組織（CEA）等の原子力関係者との意見交換を行う他、（CEA）マールクール研究所を訪問、UP-1、フェニックス炉を視察し、関係者と意見交換を行う。

4. 主要日程

11月19日（月）東京発 → パリ着

20日（火）（CEA）ジャック長官等と会談

21日（水）日仏原子力委員会出席（パリ）

22日（木）マールクール研究所視察（UP-1／Phoenix）

23日（金）N20出席（パリ）

24日（土）パリ発

25日（日）東京着、帰国

5. 概要

日仏原子力委員会では、両国の原子力政策が紹介され、両国政府関係者の意見交換が行われた。「技術開発・研究開発に対する考え方」と「我が国におけるプルトニウム利用の基本的な考え方」を紹介した。

フランス原子力・再生可能エネルギー庁（CEA）のマルクール研究所の再処理施設UP-1とナトリウム冷却高速原型炉フェニックスを訪問し、廃止措置の状況を視察した。

日仏原子力専門家会合（N20）では日仏の原子力産業界関係者による情報交換が行われた。

CEAなどフランス政府と産業界の原子力関係者と意見交換した。